

アップサイクルで SDGsを

アップサイクルは 身近でできる SDGs

エスディージーズ
SDGsは、「Sustainable Development Goals」の頭文字からなることばで、日本語で「持続可能な開発目標」といいます。貧困や、水、教育、環境、差別など、地球がかかえている問題を、2030年までに解決へみちびくため、国際連合で150以上の国のリーダーが約束した17の目標です。アップサイクルが、どのようにSDGsの達成に役立つのか、見てみましょう。



アップサイクルで
生まれたもの

気候変動、環境問題の解決へ

エスディージーズ
SDGsがかかげる目標に、目標13「気候変動に具体的な対策を」や、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」があります。



ゴミを燃やすときに出る温室効果ガス※の発生をおさえる。
→気候変動をおさえることにつながる。

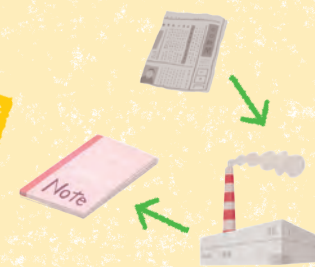


身近にあるものをつくりかえるので、新たな資源はほとんど使わない。
→自然環境を守ることにつながる。

※温室効果ガスとは、太陽からの熱を地球にとじこめるはたらきをする気体です。近年、この温室効果ガスがふえたことが地球温暖化につながり、世界中に異常気象を引き起こしていると言われています。

アップサイクルでエシカル消費

目標12「つくる責任 つかう責任」は、つくる人（生産者）も、使う人（消費者）も、地球の環境や、人びとの健康を守るような行動をとろうというものです。消費者が、自然環境や生産者のことを考えながら商品を選び、使い方やすて方を工夫することを「エシカル消費」といいます。アップサイクルや3R活動は、身近なところで始められるエシカル消費です。



リサイクル

再生紙でつくるノートのように、使い終わったものを資源にもどして、つくりかえること。



リユース

使わなくなった古着をバザーで売るなど、まだ使えるものを再利用すること。



リデュース

つめかえできる商品を使うなど、むだなごみの量を少なくすること。

上の3R活動に、レジぶくろを「いりません」とことわる
リフューズをくわえて、4Rということもあるよ。



アップサイクルで、楽しい生活を！

エスディージーズ
SDGsの「Sustainable（持続可能な）」とは、「将来に向けてずっと続けていけるように」という意味です。アップサイクルの自由さや楽しさは、やりがいやよろこびにつながり、続けていく力のささえになります。

アップサイクルは
自由につくれるし、
自分のタイミングで
始められるのいいね！

